

2年 学年だより

大阪市立矢田中学校
第25号
2025年3月17日
発行

送辞

学校前の公園に、やわらかく温かい木漏れ日が差し込む季節になりました。三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

先輩たちの門出のときに立ち会えたことを、私たちはたいへん嬉しく思います。一方で、四月からの中学校生活には皆さんがもういないことを考えると、ちょっと、いいえ、とても寂しく感じられます。

先輩たちを一言で表すと、太陽です。矢田中学校を、その明るさで照らし、あふれるエネルギーで、学校行事などの様々な活動を、大いに盛り立ててくれました。特に、印象に残ったのは、文化祭の「ヤタエモン」です。ダンスの一体感・シリアスからコミカルまでの幅広い演技・脚本のおもしろさに至るまで、短い期間で仕上げていたことに、私たちは驚き、圧倒されました。それから、体育大会。学年種目のリレーでは、先生も保護者の方も、全員が皆さんを応援していました。皆さんの、最後まで懸命に走りきるといひたむきな姿勢に、その場にいた全員が心を打たれました。

今、皆さんはどんな思いを抱いていますか。寂しさ・切なさ・心細さ。そして、4月からの新生活への期待、不安――。

私たちは信じます。どんなに不安が大きくても、皆さんは堂々と歩んでいかれることを。卒業したらどんな世界が待っているのか、今の私たちには想像することしかできません。もしかしたら、厳しい試練が立ちふさがりかねません。これから先、どんなにつらいことがあっても、くじけずに前向きに立ち向かい、そして――、つらいことなんて、そんなもの弾き飛ばしてください。先輩たちの力強い姿に、私たちも続きます。

卒業生の皆さん、今まで様々な場面で私たちを教え導いてくださいました。教わったことは大切にして、私たちも矢田中学校の生徒として恥ずかしくないように歩んでいきます。

最後になりましたが、先輩方のご健康とさらなるご発展を心よりお祈り申し上げ、送辞とさせていただきます。

令和七年三月十四日

3年生を送る

涙がこぼれている人がいました。すすり泣く声が聞こえました。

3月13日、3年生を送る会を行いました。

初めは1・2年生からのメッセージ動画から。見知った顔の後輩の姿が舞台上の大スクリーンで卒業を祝います。動画がひとつずつ流れるたびに、もうお別れなんだという実感が高まっていきます。

次にスクリーンに映されたのは3年生のこれまでの記録。入学式の写真が映し出されると、3年生にもこんなに小さいときがあったんだなあと、笑い合ったり泣けてきたり。3年間を振り返って、3年生の先輩方は感慨にふけっている様子でした。

それから、在校生代表と卒業生代表が、それぞれお別れの言葉を言いました。体育館から退場する3年生を見送る拍手は温かくて、先輩方の心に響くお別れの会をすることができました。

卒業式

～送辞が帰るところ～

送辞は、卒業生への感謝やエールを述べるものであると同時に、在校生の誓いを述べるものでもあります。卒業生が安心して卒業できるように、在校生がこれからの中学校生活をより良いものにしていきますという誓いを述べます。

今回の送辞で特に強く込めたメッセージは、「どんなに不安が大きくても、皆さんは堂々と歩んでいかれる」という部分。そして、「つらいことがあっても、くじけずに前向きに立ち向か」ってほしいという内容。

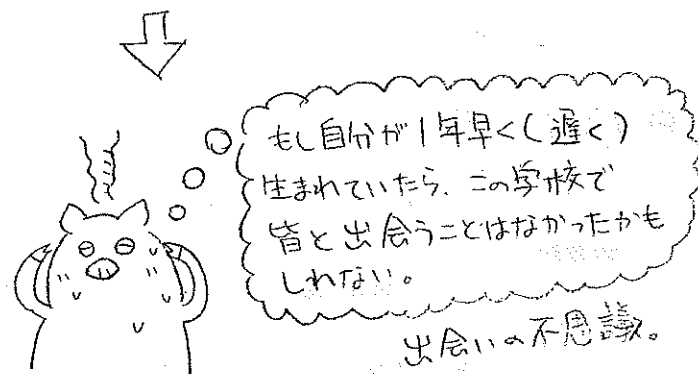
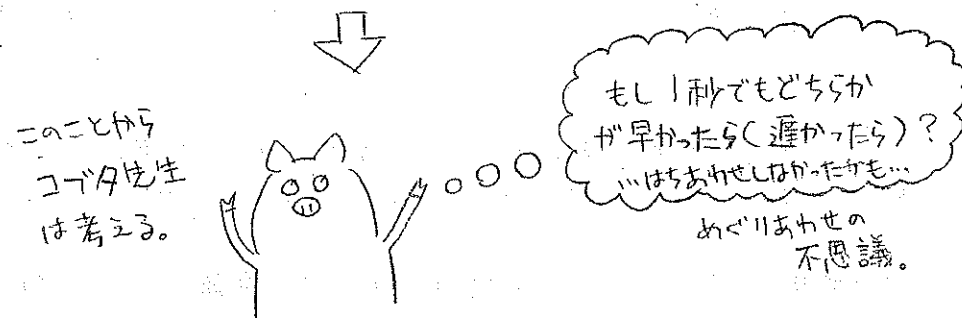
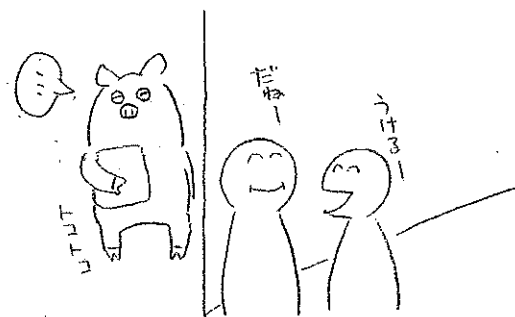
卒業生の姿は、自分たちの1年後の姿です。卒業生に送った言葉は、1年後の自分たちに帰ってきます。1年後の自分たちもそうなっていることを誓ったものです。

メッセージの最後は、自分たちの誓いの言葉であることも意識して、「(そのような)先輩たちの力強い姿に、私たちも続きます」で結びました。来年の今頃、皆さんも立派な卒業式を挙げられるように、沢山学び、沢山思い出を作りましょう。

2年生、3月の主な行事

3月18日(火)	45分×4 教育懇談 給食なし (4限後下校のため昼食不要)	3月21日(金)	45分×4 教育懇談 2・3限：スポーツ大会 4限：学活
3月19日(水)	45分×4 教育懇談	3月24日(月)	修了式
3月20日(木)	春分の日		

コブタ先生のお仕事日記
その22



コブタ先生のお仕事日記
その23

